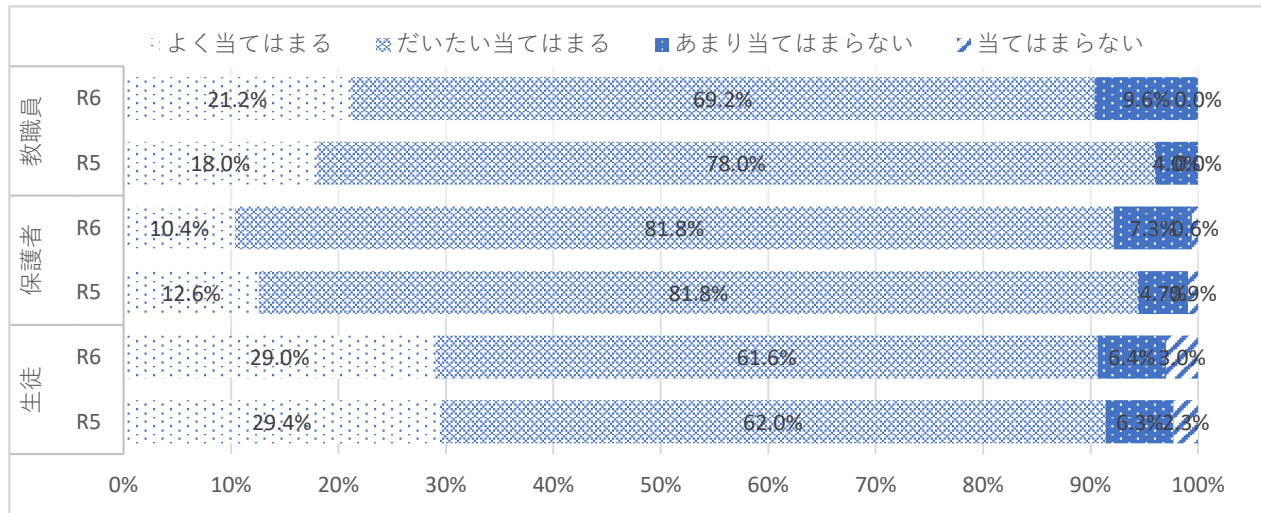


【回答集計結果】

～全県共通質問事項～

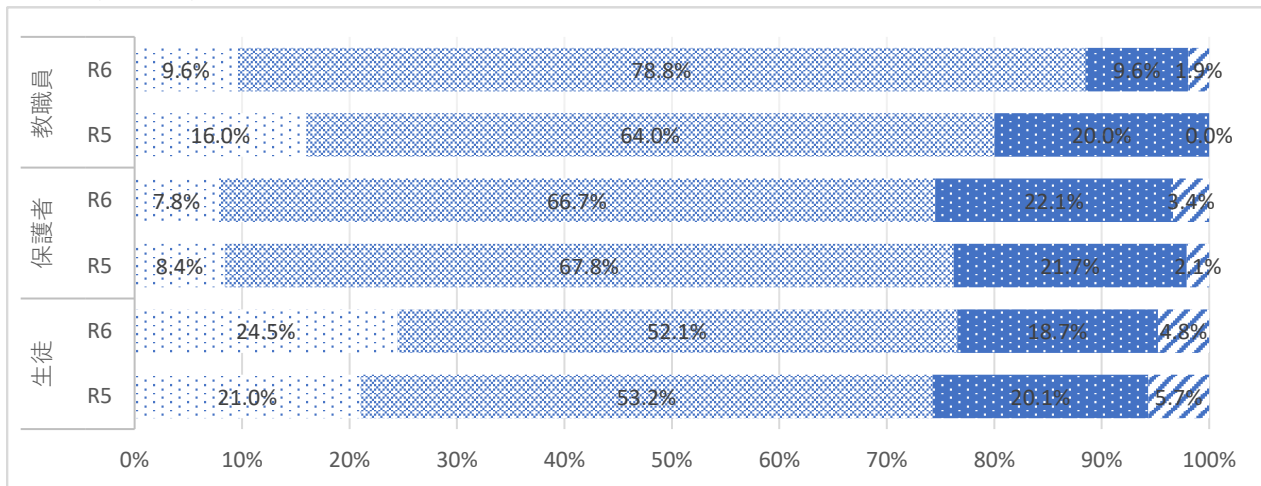
①学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている



昨年に比べて教職員、保護者、生徒とも「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した割合の合計が微増した。

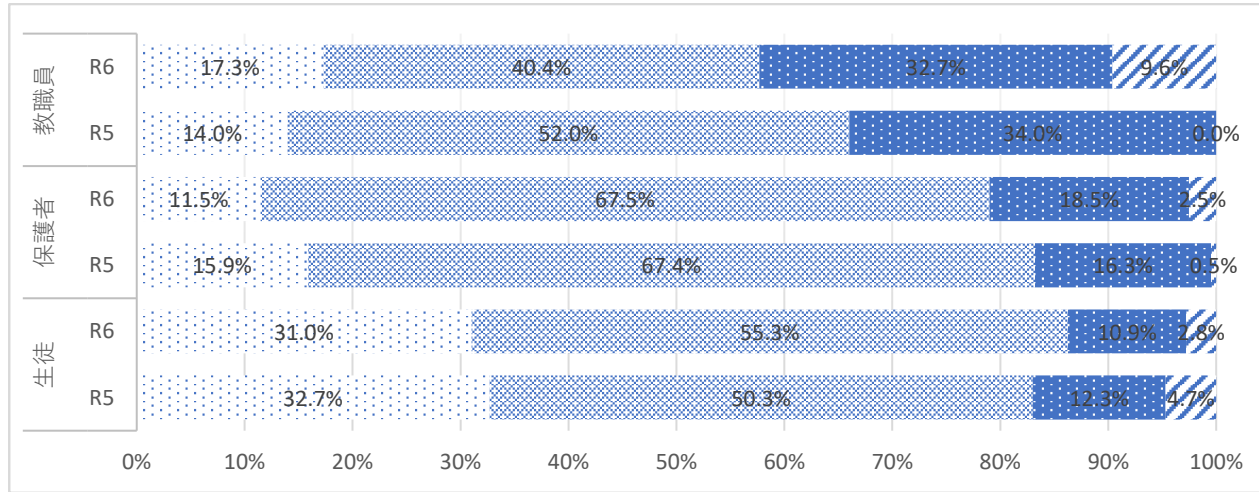
本校のスクールポリシーや教育課程の特長についてさらに周知するよう努める。

②生徒（お子様）の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている



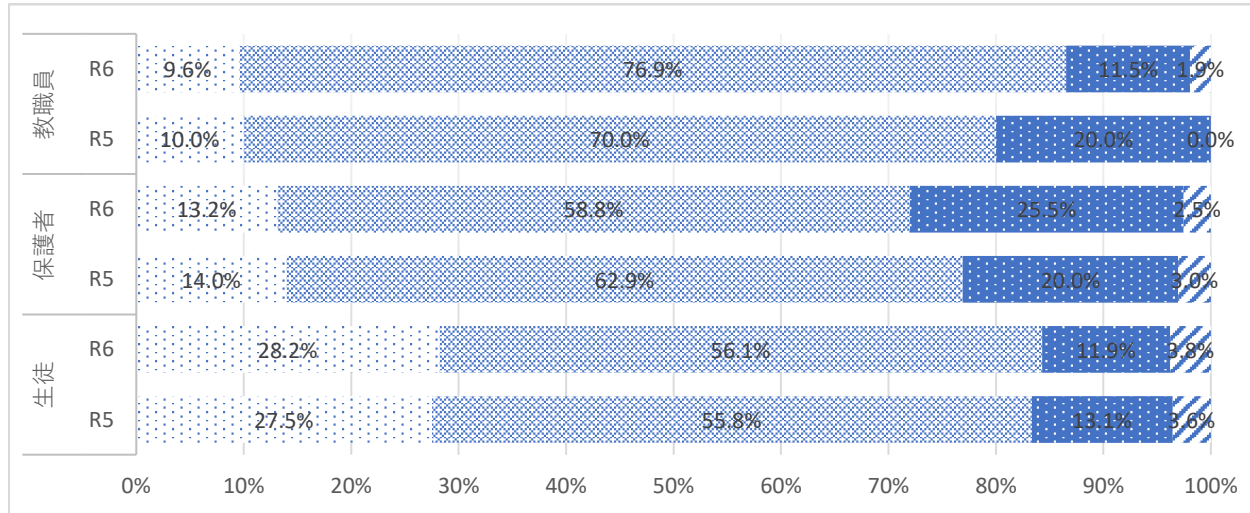
保護者及び生徒の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」（以下「肯定的評価」という）の回答割合は昨年と同程度である。今後も授業改善を続け生徒の学力向上につながる授業づくりを目指す。

③生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている



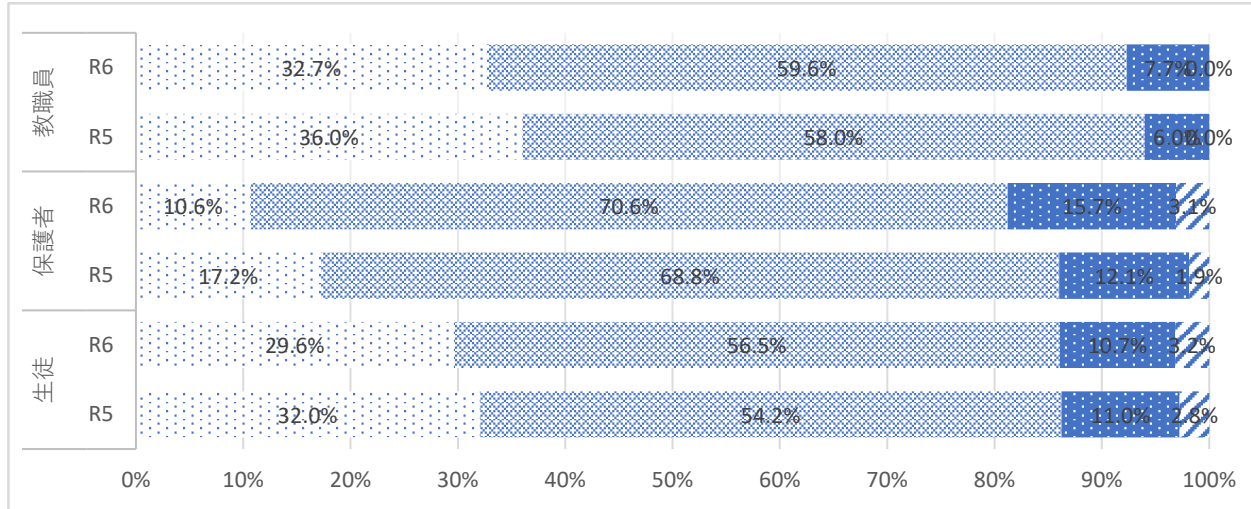
生徒及び保護者の肯定的評価が過半数を占める一方で、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」という回答もある。日頃の自転車マナーに関する苦情の多さや、夏季の服装の乱れ等の改善について、今後早急に対策を考えていく必要がある。

④生徒（お子様）の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている



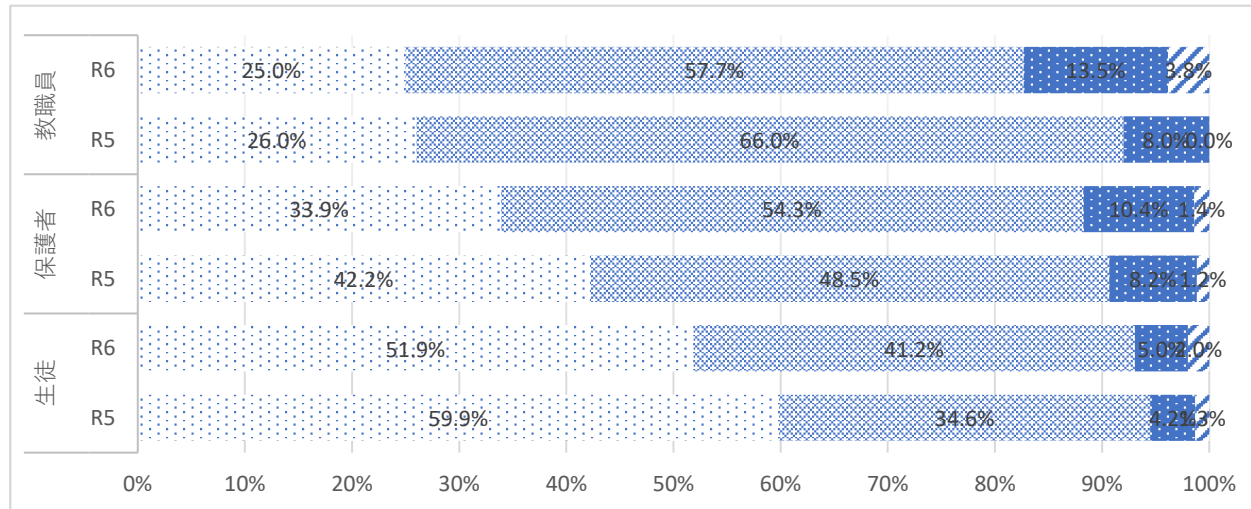
昨年度に比べ、生徒の肯定的評価が増加している。各学年における独自の取り組みや声かけ、面談などの結果であると考え。一方、保護者においては減少している。保護者が望む指導にはまだ不十分ということだと分析している。また、学校の取り組みが十分に家庭に伝わっていないこともその一因と考えられるため、学校としての指針を明確にし、我々全員の進路指導のスキルアップに務めたい。

⑤生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている



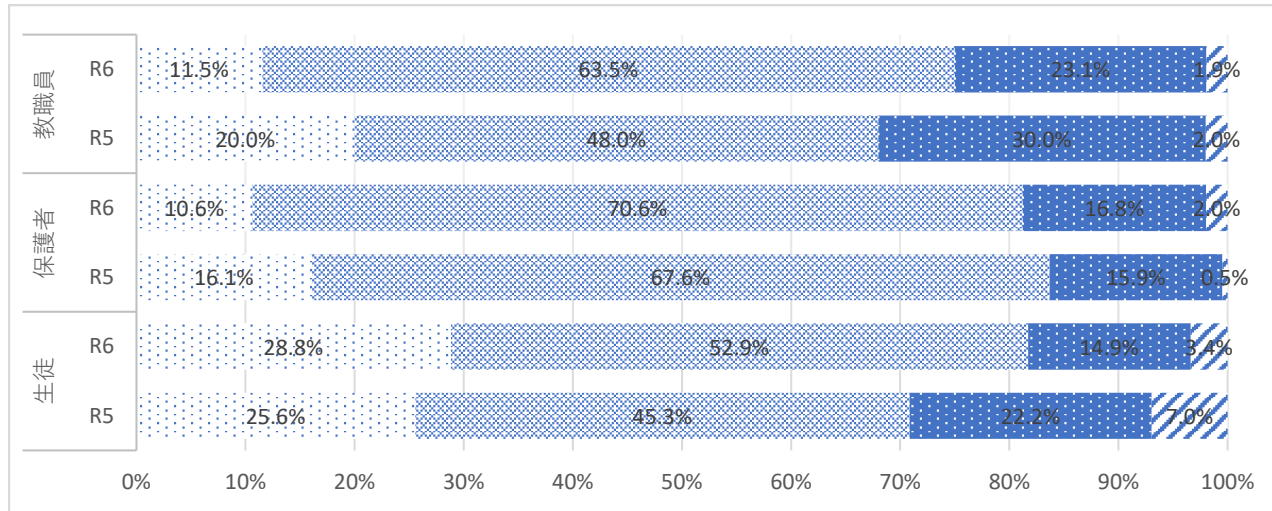
肯定的評価の回答割合が8割を占めており、概ね良好な結果といえる。今後も発信の方法を工夫しながら、相談者が必要な時に利用しやすい環境を整備していきたい。

⑥学校として、部活動は活発に行われている



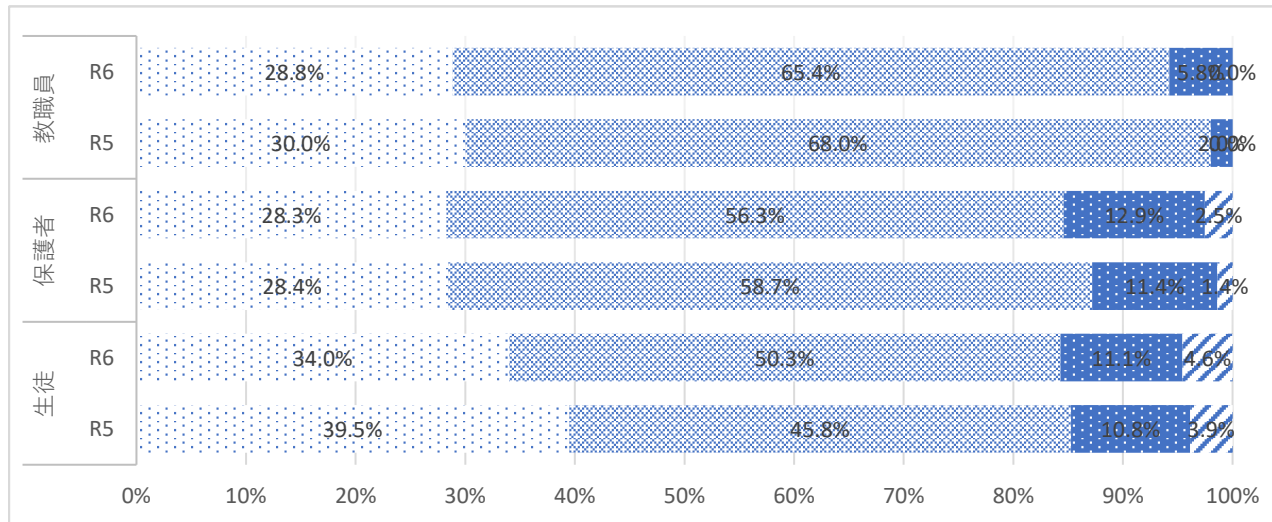
生徒の肯定的評価が9割を占めていることがわかるが、保護者、教職員との認識の差も見られる。なお、部活動については特に中学校で全国的に地域移行が推進されつつある現状もふまえ、今後どのように変化していくのか全国的な動きを注視しながら対応していく必要がある。

⑦学校として、生徒会活動は活発に行われている



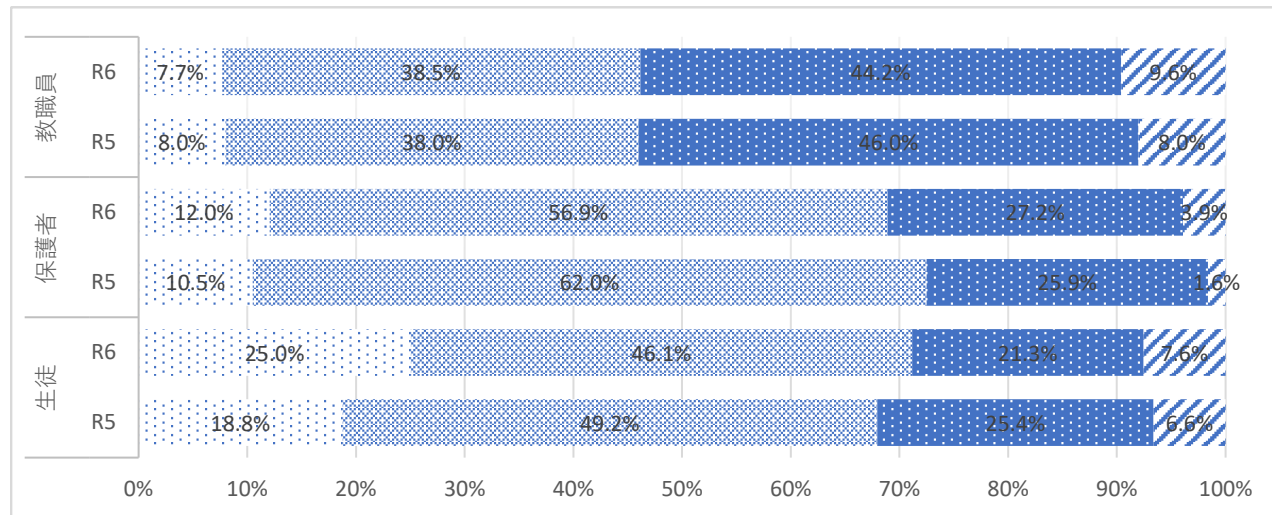
昨年度と比較すると、肯定的評価が若干高くなっている。リーダーシップを発揮する生徒を育てるため、今後も生徒会役員を中心に多くの生徒が活躍できる機会を与えていきたい。

⑧生徒（お子様/自分）にとって、有意義な学校行事がある



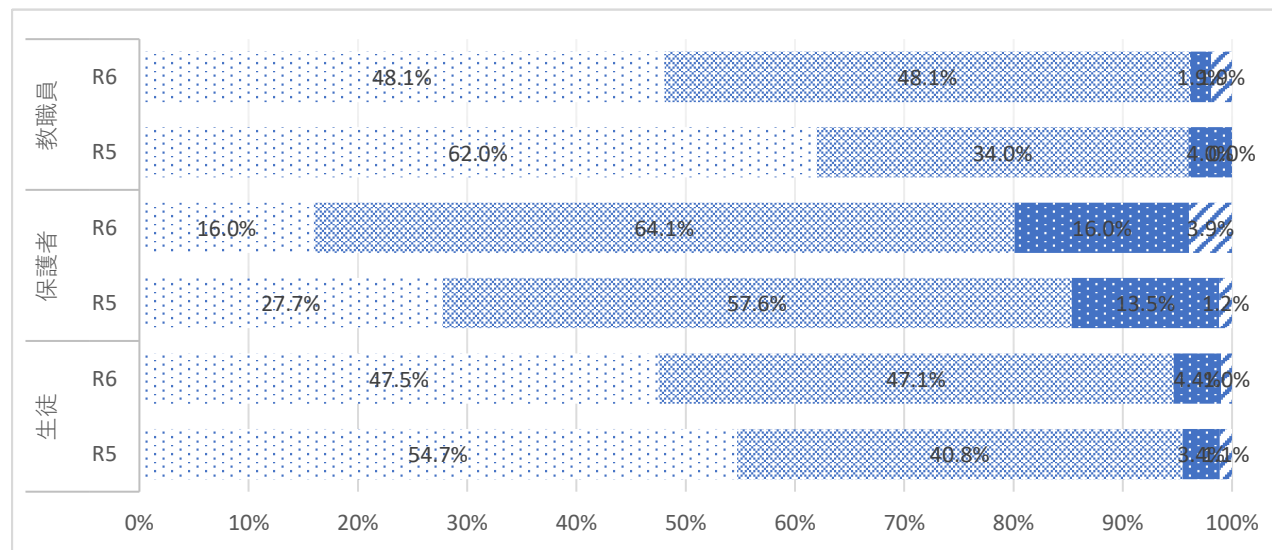
西陵祭、スポーツ大会など、主要な学校行事のスタイルが定着したように感じる。今年度は新たに全校でのプロ野球観戦を取り入れた。今後も試行錯誤を重ね、生徒にとって有意義な学校行事を考えたい。

⑨学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる



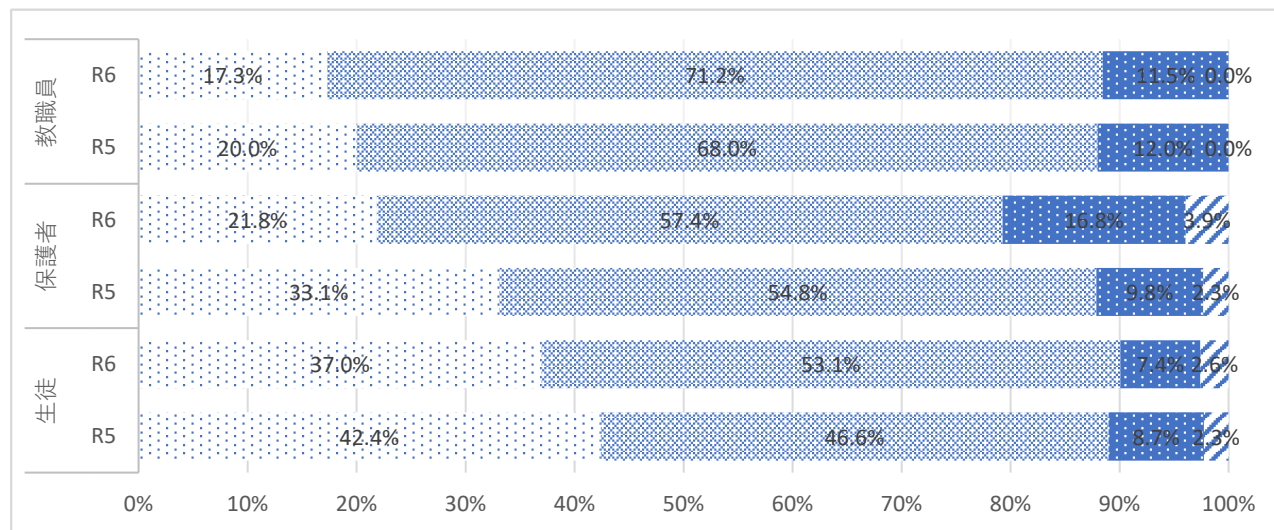
保護者、生徒共に肯定的評価が7割程度である。地域行事でのボランティア活動参加、防災や交通安全に関する地域協働の取り組み、部活動の交流など、今後も継続して推進していくとともに、積極的に活動の様子を発信したい。

⑩保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



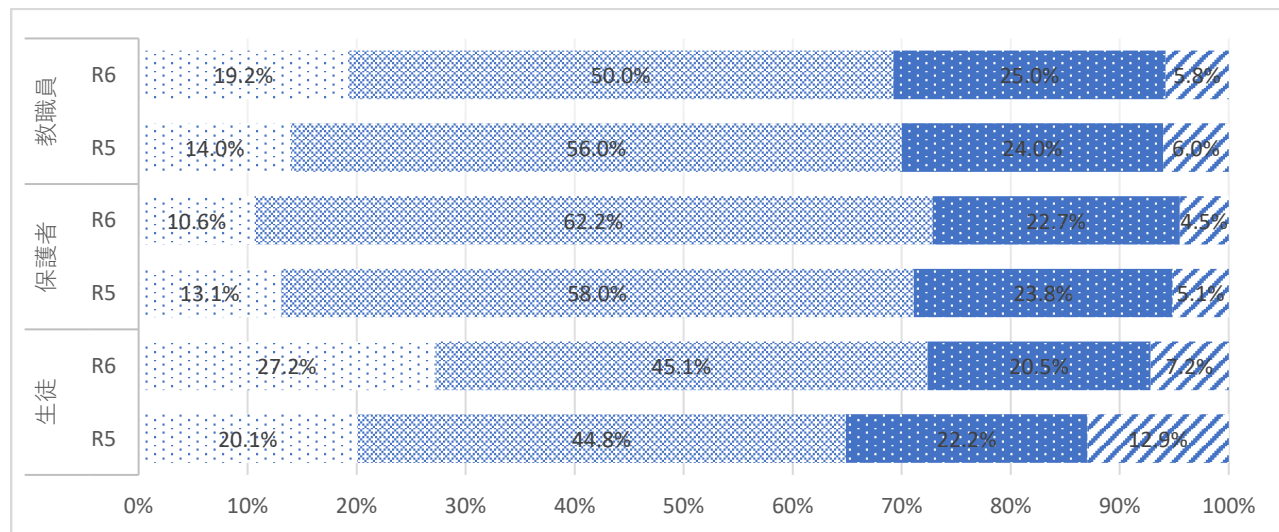
昨年度と比較すると、肯定的評価が若干減少している。入学時の「緊急時生徒個人カード」の提出や、各教室での避難経路の掲示、年2回の防災訓練や防災講話等を通して防災教育を行っているが、十分に家庭まで伝わっていないことも考えられるので、今後も継続して積極的に啓蒙活動を行っていきたい。

⑪保護者に対して、学校便りなどによって学校の情報は適切に伝えられている



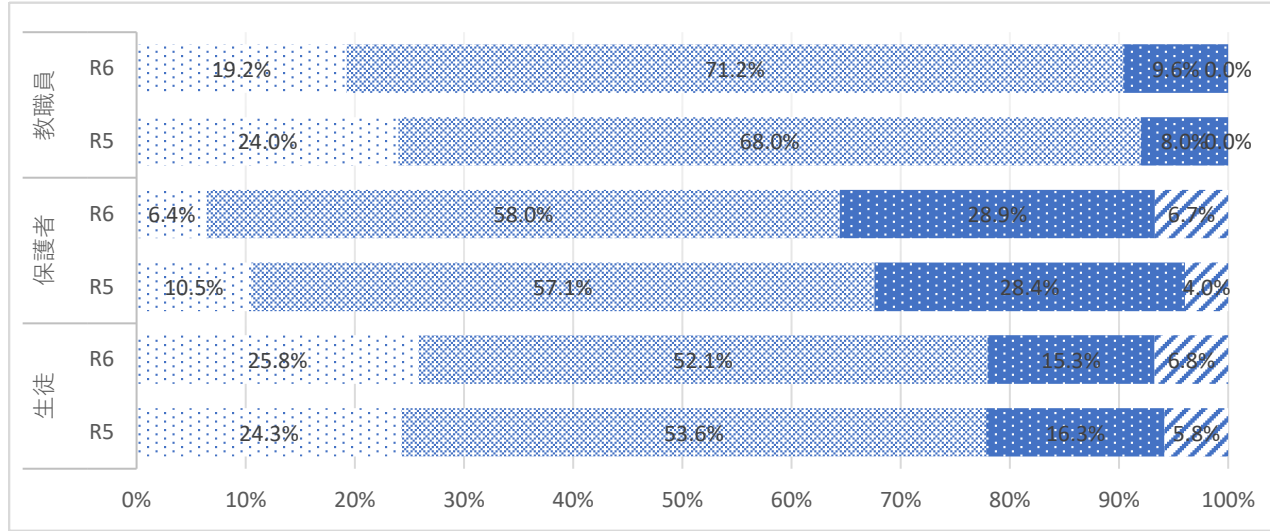
現在、「学校だより」はHPへの掲載、「学年だより」はClassiによる配信により保護者へ情報提供を行っている。生徒・教職員の9割、保護者の8割の肯定的評価を得ている。しかし一方で、学校の情報を適切に伝えられていないと感じている回答があることから、全家庭が安心して学校の情報を受取できるよう、さらに情報提供に努めたい。

⑫校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



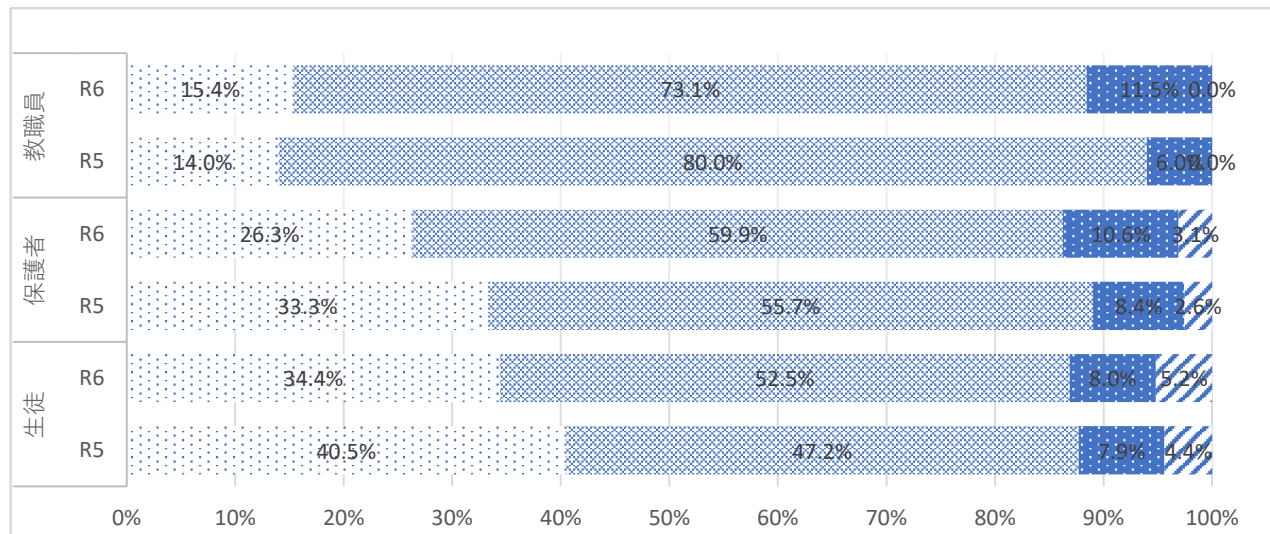
今年度は、多目的トイレの新設工事、合宿所のバルコニー軒天・外壁改修工事等を行い、施設の整備に努めた。また、生徒昇降口のタイルの剥がれなどのような小破修理に対して、迅速に対応が行えた。一方で、校舎は築40年を経過しているため、日々点検等を行い、安心、安全を第一に考え、施設設備の維持管理に努めていきたい。

⑬学校として、いじめの問題に対する取り組み方針が保護者と共有されている



概ね肯定的回答がみられる一方で、生徒、保護者からは1割弱の「当てはまらない」という回答がある。学校側で把握できていないいじめ問題があるのか意識しながら、生徒の様子をより細やかに観察し、面談や学校生活アンケート等で早期発見を目指したい。

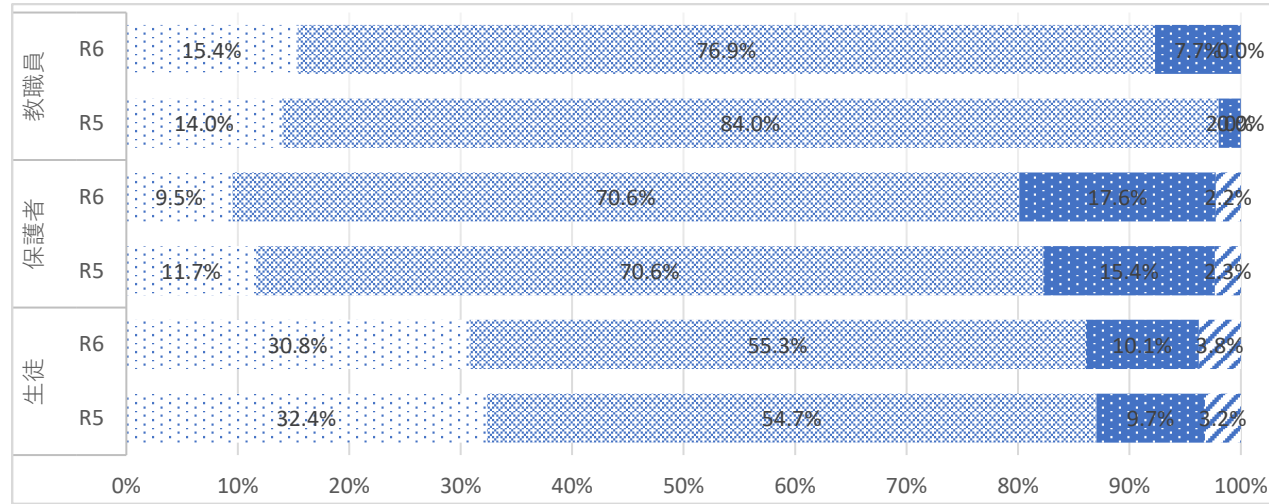
⑭生徒（お子様/自分）の学校生活は充実している



全体的に肯定的評価の回答割合が高いが、より充実した学校生活を送ることができるように、個々の生徒が居心地が良いと思える環境を提供するとともに生徒が活躍できる場面をさらに整えていきたい。

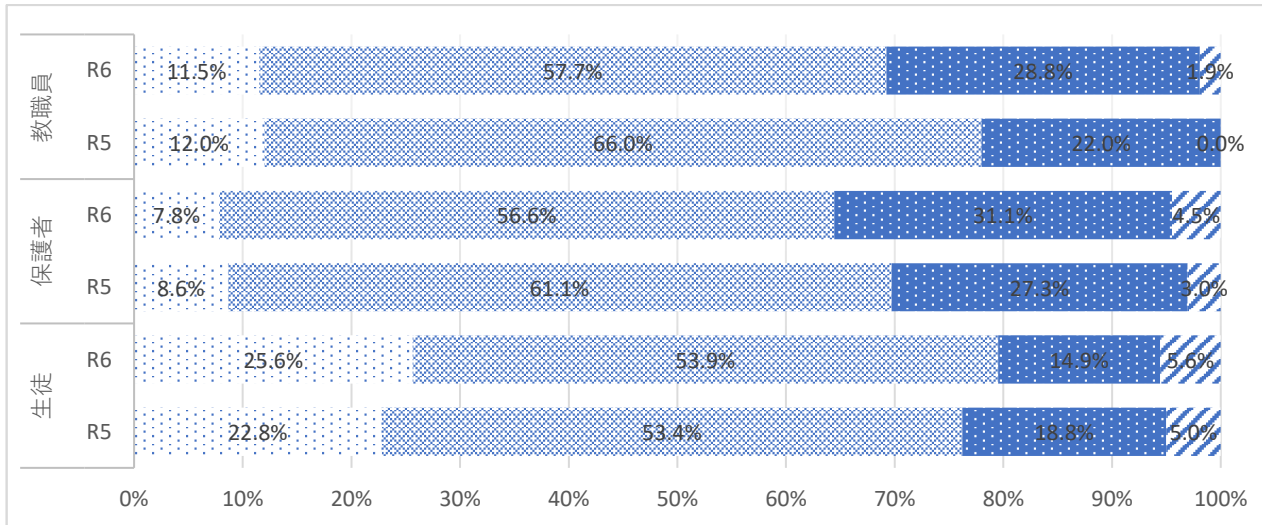
～本校独自質問事項～

⑮本校は基礎・基本の定着を図る学習指導が適切に行われている



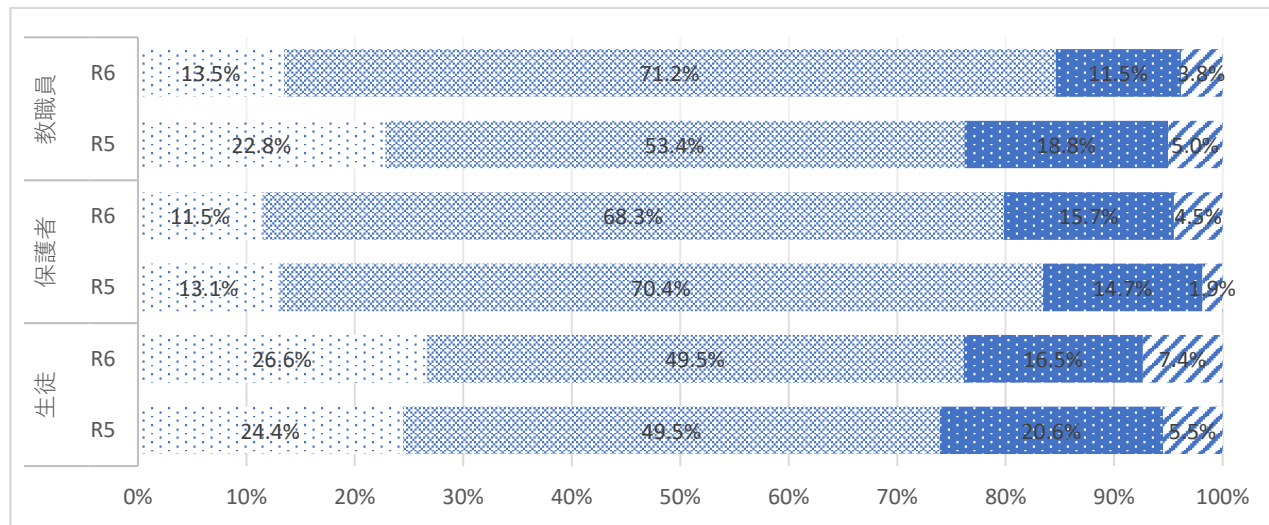
質問②と同様に、昨年に比べて教職員の肯定的回答が増加した一方、保護者および生徒の回答割合は昨年と同程度である。今後も授業改善を続け生徒の学力向上につながる授業づくりを目指す。

⑯本校は家庭における学習習慣形成を促す指導が適切に行われている



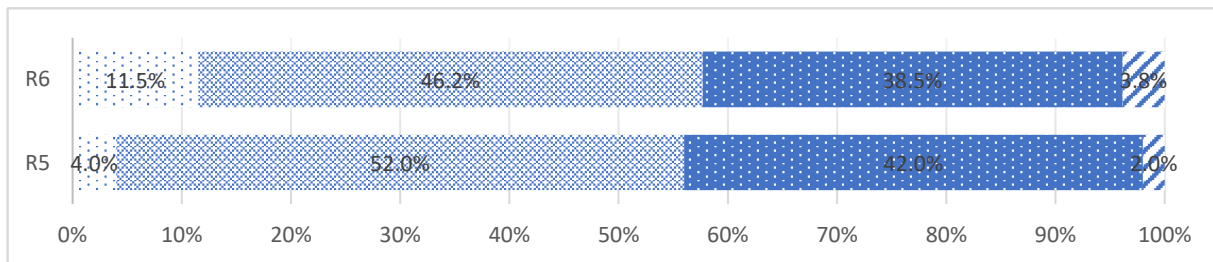
生徒、保護者、教職員とも昨年度と同程度の回答割合である。継続して学習意欲を喚起し、学習習慣の形成を目指す。

⑰本校は生徒が学習と部活動を両立できるよう配慮している



肯定的評価の割合が高いが、教員、保護者、生徒から「当てはまらない」という意見があることは考えておかなければいけない。活動の盛んな部活動への加入率が低下している傾向は、新型コロナウイルス感染症流行や部活動の地域移行の動きなど、様々な要因によるものと考えられる。今後は県全体の動きも注視しながら適切な対応をすることが必要になると考える。

⑱本校では地域との連携がはかられている[教職員のみ]



⑲本校では校内外の研修が充実している[教職員のみ]

